# 令和6年度大阪府立青少年海洋センター本館及びヨットハウス指定管理者評価項目及び評価基準(案)詳細版

評価項目	評価基準	事業計画書該当箇所	指定管	施設管理者の評価	評価委員会の
 I. 提案の履	「一大況に関する項目	!	нт іш	ні іш	
(1)施設を	○青少年をはじめとする府民に自然と親しむ健康で文化的なレクリエーション活動の場を提供し、青少年の健全				
管理運営	育成及び府民の海洋レクリエーション活動の促進を図るという施設の目的に沿った運営がなされているか				
する基本					
方針	1. 提案した管理運営方針に沿った取組み				
	① 青少年の健全育成の促進(青少年の自立支援)	P1			
	(1)プログラムの提供及び海洋活動等を体験する各種自主事業の実施				
	(2)多様な課題を抱えた青少年を対象とした自立支援を行う自主事業の実施及び各種団体等の事業の受入れ・支援				
	② 府民に対する海洋スポーツ・レクリエーション活動の促進				
	(1)海洋スポーツ・レクリエーション活動の拠点として、幅広い府民への活動参加機会の提供及び活動の普及・				
	発展				
	③ 自然教育・環境教育の実施				
	(1) 関西環境教育学会や環境教育を実践する団体と連携した環境教育の充実				
	(2)施設利用者とともに 002 削減等エコチャレンジの取組み	P2			
	<ul><li>④ SDGs への取組み</li></ul>				
	(1)プラスチックごみの減量や分別、浜辺のクリーンアップ事業の実施				
	(2) ジェンダー平等や健康・福祉等の目標に向けた取組み				
	(3) SDGs の啓蒙活動の実施				
	⑤青少年活動指導者の養成				
	(1)年間研修計画の策定、施設の安定的な運営を見据えた人材の育成と活用				
	(2) 専属の大学生ボランティアリーダー70 名の養成				次貝
	⑥府民の平等な利用の確保				类
	(1)障がい者や高齢者等の利用の積極的な受入れ				Ĥ
	(2) ホスピタリティマインドの醸成よる利用者サービスの向上				

		•	
	(3)職員に対する人権研修の実施		
	⑦安全最優先の施設運営の実施	P3	
	(1) 危機管理マニュアルに基づく安全最優先の施設運営の実施		
	(2) 良好な施設の維持管理		
	(3)安全基準に基づく海洋活動の実施		
	(4)防災訓練の実施		
	(5)アレルギー食の個別対応		
	(6)新型コロナウイルス感染症拡大予防の実施		
	⑧防災教育への取組み		
	(1)津波・避難訓練等の防災教育		
	(2)防災教育プログラムの提供		
	⑨地元岬町、NPO法人、関係機関及び近隣施設との連携と住民サービス向上への取組み		
	(1)近隣市町村や青少年団体、NPO法人等関係団体との連携		
	(2)地域住民や青少年のための事業の企画実施		
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
	(1)関係団体への加入及び連携によるネットワークの構築・強化		
	⑪ コンプライアンスの遵守		
	   (1) 施設運営に係る関係法令の遵守		
	② 安定した施設運営への取組み	P4	
	(1)運営状況の分析及び改善の取組み		
	(2) 効率的な経費執行及び増収のための取組み		
(2) 公平・	○公の施設であることを踏まえ、公平・平等利用が図られているか		
平等な利	1. 公平・平等利用を確保するための基本方針	P5	
用を図る	① 職員の人権研修等の実施		
ための具	② 利用者アンケート等の実施による利用者の声や要望の把握		
体的手	2. 高齢者、障がい者等に対する配慮		
法・効果	① ユニバーサルデザインの視点に立った施設づくり		
	② 高齢者や障がいのある方の受入れのためのサポートに必要な知識・技術の習得及び配慮ある適切なプログラ		
		- "	

・閑散期の大学ゼミ合宿等の誘致

	ムの提案や、福祉教育の推進		
	③ 障がい者及び特定疾患、小児慢性特性疾患のある利用者に対する施設利用料の割引		
(3) 利用者	○年間目標来館者数の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか		
の増加を	1. 利用者の増加を図るための具体的な取組み		
図るため	① 年間目標来館者数・実績状況	P6	
の具体的	(単位: 人)		
手法•効果	利田 宝緒 計画と 前任同 対前任		
1 12 //4/1	内訳   計画   天橋   計画と   達成率   期実績   同期比		
	R6   宿泊   24,200   %   %		
	年 日帰り 30,300 % %		
	度 合計 54,500 % %		
	R7   宿泊   24,000   %   %		
	年 日帰り 30,000 % %		
	度合計 54,000 % %		
	R8   宿泊   24,200   %   %   %		
	年 日帰り 30,300 % %		
	度合計 54,500 % %		
	R9     宿泊     24,400     %     %       年     日帰り     30,600     %     %		
	度合計 55,000 % %		
	R10 宿泊 24,600 % %		
	年日帰り 30,900 % %		
	度合計 55,500 % %		
	②利用者の増加を図るための方策		
	(1)利用促進・広報活動の取組み		
	・平日の利用促進の取組み	P7	
	・繁忙期の宿泊団体の効率的な受入れ		
	・準繁忙期の合宿・企業研修等の誘致		
	・ 中系に別の口泪・正未切形寺の誘攻		

	・休所期間中の利用促進の取組み			
	・当日利用希望者の受入れ			
	・リピーターの確保			
	・SNSや広報紙による情報発信			
	(2)多彩な活動プログラムの提供と指導援助			
	(3) 学校等団体の施設利用効果向上の取組み	P8		
	(4)利用促進事業の企画・実施			
	(5) 閑散期における利用促進の取組み	P9		
	(6) ヨットハウスの会議室等の利用促進			
(4) サービ	○利用者サービスの向上を図るための取組みが適切に実施されているか			
スの向上				
を図るた	1. サービスの向上を図るための具体的な取組み			
めの具体	① サービスの向上のための取組み	P10		
的手法• 劾	② 利用者ニーズと満足度の把握			
果	(1)施設利用者アンケートの実施			
	(2) 主催事業参加者アンケートの実施			
	(3)担当職員及びリーダーによる意見・感想の聞きとり			
	③ 魅力的なプログラムの提供	P11		
	(1)海洋活動プログラム			
	・OP ヨット・いかだプログラム			
	・カッターボート・カヌープログラム			
	・大型ヨット(クルーザー白鳥号)			
	(2) 陸上活動プログラム			
	・MAP(マリン・アドベンチャー・プログラム)	P12		
	<ul><li>野外炊さん</li></ul>			
	・キャンプファイアー・キャンドルファイアー・ゲーム			
	・環境学習プログラム			
	・防災学習			

	・館内プログラム			
	・海辺プログラム			
	・施設周辺プログラム			
	④ 生活環境向上のための取組み	P13		
	⑤ 食物アレルギーを持つ利用者への対応			
	⑥ 利用者の安心・安全を確保するための取組み			
	⑦ 地域との連携強化	P14		
	⑧ 教育施設としての取組み			
	⑨ 障がいのある利用者への対応			
	⑩ 施設特性を活かした子育て支援事業の実施			
	⑪ 利用申込方法の利便性向上のための取組み			
	⑫ 玄関ロビーの改装			
(5)管理運	○施設管理運営の基本方針を達成するため具体的な取組みが適切に実施されているか			
営業務実				
施計画の	1. 施設管理運営の基本方針を達成するための具体的な取組み	P15		
実施状況	① 「府民に開かれた施設」としての運営			
	② 指導職員及び専属ボランティアリーダーの配置			
	③ 青少年に対する指導			
	④ 充実した活動プログラムの提供			
	⑤ 安全管理			
	(1) 危機管理マニュアルの策定と危機管理体制			
	(2) 施設・設備の安全管理	P16		
	(3)海洋活動の安全管理			
	(4)安全な食事の提供	P17		
	⑥ 利用者の快適な生活の場の確保			
	⑦ 地域連携			
(6)自主事	○自主事業の企画・実施が計画的かつ適切に実施されているか			
業計画の				

## 実施状況

- 1. 自主事業の取組み
- 給食業務
- ・ナンブフードサービス㈱によるノウハウを活かした食事提供
- ② 自主(主催)事業計画・実績

	事業名	対象	定員	実施時期	回数	R6 実績
(1)	会員制年間事業					
1	海洋キッズマリンクラブ (KKMC)	小~高校生	各 80 名	年間	1 泊 2 日 6 回、	
					日帰り1回	
(2)	青少年(幼児から中学生まで)を対象とし	た事業				
1	海のようちえん	幼児	各 50 名	年間	1 泊 2 日 1 回、	
					日帰り6回	
2	くらたんうきうきキャンプ	小学生	60名	8月	2 泊 3 日 1 回	
3	海のよくばりキャンプ	小学生・中学生	48 名	8月	2 泊 3 日 1 回	
4	くらたんサン SUN キャンプ	小学生	各 60 名	8月	2 泊 3 日 2 回	
5	くらたんクリスマスキャンプ	小学生	48 名	12 月	1 泊 2 日 1 回	
6	くらたんスプリングキャンプ	小学生	48 名	3 月	1泊2日1回	
7	生き物発見キャンプ	小・中学生	48 名	10 月	1 泊 2 日 1 回	
(3)	家族を対象とした事業					
1	ファミリーキャンプ	家族	12 家族	4 月	1 泊 2 日 1 回	
			12 家族	8月	2 泊 3 日 1 回	
			12 家族	10 月	1 泊 2 日 1 回	
2	フィッシングキャンプ	家族	各 24 家族	10 月	日帰り4回	
			15 家族	11月	1 泊 2 日 1 回	
(4)	海洋活動の普及とスキルアップを目的と	した事業				
1	シーカヤック体験	一般・シニア	各10名	5~10月	日帰り3回	
2	セーリングスクール	一般・シニア	各 10 名	8~9 月	日帰り3回	
(5)	ユニバーサル事業					
1	フレンドシップキャンプ	障がい者	12名	8月	1 泊 2 日 1 回	
2	ふれあいユニバーサリーキャンプ	障がい者・家族	各 10 家族	5~11月	日帰り3回	
3	フレンド親子キャンプ	障がい者・家族	5 家族	9月	1 泊 2 日 1 回	
4	シーカヤックチャレンジキャンプ	障がい者	40 名	9月	1泊2日1回	
(6)	指導者養成事業					

P19

P18

P20

P21

	1 環境教育指導者講習会	18 歳以上	20 名	3 月	1 泊 2 日 1 回					
	2 専属指導者養成	大学生	70 名	年間						
	(7) 地域各種団体・機関連携実施事業		1 7 7 1	1 114						
	1 せんなん里海さくらフェス	地域住民	2,000 名	9月	日帰り1回					
	2 新春里海まつりフェス	地域住民	2,000 名	1月	日帰り1回					
	3 みさきタコクラブ	小学生	各 20 名	5~11月	日帰り3回					
	(8)地域サービスを目的とした事業	·								
	1 マリンフェスティバル試乗会	家族・一般	各 200 名	9月・3月	2 旦			P22		
	(9) 冬期利用促進事業	,								
	1 お気軽マリンパック	子ども会・一般 団体		12~3 月						
	2 うみのこパック	幼稚園・保育所		12~3 月						
	3 冬のイベント	小学生・中学生	<u> </u>	12~2 月	日帰り3回					
	③ 売店業務	·		<u></u>						
	・日用品、薪、炭及びプログラ	ム材料等の販売								
	○維持管理の役割分担に基づき、	施設、設備、備品等の	安全管理	・安全対策	<b>乗が適切に実施</b>	i されているか	7			
維持管理	○維持管理の役割分担に基づき、	施設、設備、備品等の	改修・修	繕・更新か	効率的、計画的	的かつ適切に	実施され			
の内容、適		ACIDA CONTRACTOR	3(1)		770 1 1.9 <b>4</b> F1 F1.	1311 - AZ 241 - 2	<u> </u>			
シア在、過 格性及び										
		u コリー・ハング								
実現の程	1. 施設・設備の改修・整備及び							P23		
度	① 施設・設備の整備に関する取	り組み								
	・各種点検の実施									
	・改修に向けた取り組み									
	・樹木剪定及び雑草等の整備									
	② プログラム備品に関する取組	み								
	・2人乗りカヌー買替補充(常	持30 紙)								
	・ライフジャケット買替補充(	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·								
	・カッターボートのオール買替									
	・カヌーのオール買替補充(30	本)								
	・いかだの整備 (20 台)									

・自然観察ラリーポスト整備		
・MAP(人間関係トレーニングプログラム)のためのエレメント整備		
・野外炊さん場の屋根等整備及び自炊用具の充実(300名対応)		
<ul><li>・玄関ロビーにデジタルサイネージの検討</li></ul>		
③エンジン艇等の修理に関する取組み		
(1)使用艇の日常点検の実施		
(2) 舟艇更新・補修整備計画に基づく補修整備の実施		
⑥ その他管理に際して必要な事項	P27	
(1)利用者の安全確保対策		
・安全管理体系の構築		
・施設賠償保険への加入	P28	
・安全管理委員会の設置		
・ 自衛消防組織の編成		
・地震・津波避難訓練の実施		
• 感染症対策		
(2)施設の管理運営上の安全対策		
・海上における安全対策		
・陸上(施設・設備)における安全対策	P29	
・地震・津波に対する安全対策		
・悪天候に対する安全対策		
・急病者等への対応	P30	
(3)安全管理能力の強化		
・救急法、心肺蘇生法、応急処置法の定期研修の実施		
・ケーススタディによる事例研究等の実施		
・危機管理マニュアルの見直し		
2. 施設の維持管理について	P33	
① 施設・設備の日常管理(清掃含む)及び保守点検		
(1) 日常清掃		

		!		
	(2) 宿泊棟・研修棟の点検(日常)			
	(3)警備員による巡回点検(日常)			
	(4)厨房内の衛生点検(日常)			
	(5)船舶関係の点検(日常)			
	(6)機械・電気設備等の点検(技師による日常点検)	P34		
	(7)防火管理者による防火設備等の点検(週1回)			
	② 外部業者による日常・保守管理			
	(1) 設備管理業務			
	(2) 電気設備保守管理業務			
	(3)保安警備業務			
	(4) 植栽樹木管理			
	(5)清掃業務			
	(6) 府有地(遊歩道等)の管理			
	(7) ヨットハウスの各種点検保守等	P35		
(8)管理運	○管理運営費の縮減方策が提案どおり実施されているか			
営経費縮				
減方策	1. 管理運営経費の縮減	P24		
	① 府からの管理運営経費の所要額			
	R6 年度     R7 年度     R8 年度     R9     R10     総額			
	金 額 96,380 千円 96,380 千円 96,380 千円 96,380 千円 96,380 千円 481,900 千円			
	② 具体的方策			
	(1)施設利用料収入の確保			
	・施設利用料金の改正			
	・隣接する里海公園等との連携、地域資源の活用による利用促進の取組み			
	・府内の各種学校、近隣他府県の小中学校、前年度利用団体へのパンフレット配布等による新規開拓及び利用			
	促進			
	・高校・大学の合宿等、塾や企業研修の誘致			
	・閑散期における企業研修、大学ゼミ合宿、音楽団体やスポーツ合宿等。各団体への営業活動による新規開拓			
		i		

	及び利用促進		
	・若者文化の発信拠点としてコスプレ団体やグループの受入促進、関係団体との連携による利用促進		
	(2) 自主事業収入の増額		
	・給食料収入の増額	P25	
	・自主事業収入の増額		
	・売店収入の増額		
	(3)支出経費の削減		
	・人件費の削減		
	・修繕費の削減		
	・光熱水費の削減	P26	
(9)府施策	○府が実施する事業等への協力の取組みが適切に実施されたか		
との整合	1. 府、町実施事業への協力の取組み		
	① 岬町主催事業への協力・連携	P35	
	② マリンフェスティバル実行委員会への参画等、地域団体との協力、事業実施		
	③ 岬町観光協会役員への就任、同協会との協力、相互連携による事業の実施		
	④ 府青少年施策を踏まえた各種事業の企画実施、子育て支援の推進		
	⑤ 男女いきいき元気宣言事業者として、男女における共同参画の推進		
	⑥ 岬高校や近隣中学校、大学生等の受入れ指導を行う等、教育機関との連携		
	2. 行政の福祉化の取組み		
	① 障がい者雇用による府障がい者就労支援事業への協力		
	② エル・チャレンジ団体による障がい者の清掃活動への協力		
	③ 府高齢日雇労働者自立支援事業への協力	P36	
	④ 障がいのある青少年を対象としたフレンドシップキャンプ事業の実施		
	   ⑤ 障がい者及び特定疾患、小児慢性特性疾患のある利用者に対する施設利用料の割引		
	⑥ まいど子でもカード事業への協力		
	3. 府民・NPO法人との協働の取組み		
	① ボランティア・NPO法人等との協働事業の実施		
	(1) 障がい者を対象とし、(一財) 大阪府青少年活動財団等と連携したユニバーサル事業の実施		

宿泊

(2) 隣接する里海公園での等との連携、地域資源の活用による利用促進の取組み (3)マリンフェスティバル実行委員会への参画等、地域団体との協力、事業実施 (4)地域総合型スポーツクラブや岬町文化協会等の地域団体の事業への協力 (5) 岬町が実施する深日港活性化イベント等、各種活性化事業への協力 (6) 高齢者団体の施設利用に伴う事業協力や講師派遣等の協力 ② 施設運営やサービス向上、事業企画等に府民・NPO等が参画できる機会確保の取組み (1) NPO法人等との協働事業の実施 P37 (2)ボランティア指導員を活用した施設のプログラム指導 (3) 地域連携事業の実施 (4) 地元サークル等との連携 (5) 岬町体育協会との連携 4. 環境問題への取組み ① 自主的環境マネジメントシステムの構築 Ⅱ. さらなるサービスの向上に関する事項 (1) 利用者 <mark>○アンケート等による利用者の意見の把握、調査結果のフィードバックが適切になされているか</mark> 満足度調 杳等 1. 利用者満足度調査 ① アンケート回収率 R6 年度 R7 年度 R8 年度 R9 年度 R10 年度 団体 利用団体数 団体 日帰り 団体 宿泊 回収数 件 日帰り 件 件 宿泊 回収率 % 日帰り %

## ② アンケート集計結果

### (1)日帰り利用

(1) 日	が用り不	1																
		F	76年月	变		R7 年度	į.	]	R8 年度	:		R9 年度			110 年度			
項目	評価	件数(件)	割 合 (%)		件数 (件)	割合(%)	回答率 (%)	件数 (件)	割合 (%)	回答率 (%)	件数 (件)	割合 (%)	回答率(%)	件数 (件)	割合 (%)	回答率(%)		
申込 手続き	普通															-		
3 寺	大変 不満																	
海のプロ	大変満足																	
グラム	<b>大</b> 演																	
陸•	不満 大変 満足																	
室内プログラ	普通			_			_			_						-		
4	大変不満																	
職員・	大変満足																	
ダー	—						_			_								

			T								
のサ											
ード	大変										
ス	不満										
	大変										
44	満足										
給	満足										
食	普通										
内	不満										
容	大変										
	不満										
	大変										
1.7.	満足										
施	満足		]								
設	普通										
設	不満										
備	大変		]								
	不満										
	大変										
\.	満足										
滞	満足										
在	普通										
全	不満										
般	大変		1								
	不満										
> • ( 0 /		<u> </u>	<u> </u>	 foto , I ,	1	1	1			1	

※%は、各項目の未回答も含めて算出。

# (2) 宿泊利用

	<del>इ</del> च्ह	R6 年度			R7 年度			R8 年度			R9 年度			R10 年度		
項目	評価	件数	割合	回答率	件数	割合	回答率									
	価	(件)	(%)	(%)	(件)	(%)	(%)									
申込	大変															
手続	満足															

き等	満足																
	普通		1														
	不満																
	大変																
	不満																
	大変																
海の	満足																
海のプロ	満足																
グラ																	
4	个简																
	大変																
	不満																
	大変																
陸 •																	
	満足		_														
プロ			_				_										
グラ								_									
4	大変																
	不満																
職	大変																
員·	満足		-														
リー			_														
ダー	-		-														
のサ																	
ービ																	
ス	不満		-														
	大変																
給食	満足																
内容			-														
	普迪		-														
	不満																

	大変
	大変
	満足
	施 満足
	設・ 普通   
	記備   不満
	大変
	満足
	滞在一满足
	(中)     (中)       (中)     (中)       (中)     (中)       (日)     (日)       (日)     (日
	大変
	※%は、各項目の未回答も含めて算出。
	③ 主な意見
	(1) プラス評価
	(2)マイナス評価
	(3) その他
	2. 調査結果のフィードバック
	① 当年度に改善した点
(0) 7 0 11	② 次年度に改善する点
	○その他指定管理者によるサービス向上につながる取組み、創意工夫がなされているか 1
創意工夫	1. 自主事業における創意工夫の取組み
	① 利用者対応         ② 食事提供
	③ 自主事業 3

- 2. その他創意工夫の取組み
- ① SNS 活用状況

項目	項目	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
	投稿数	件				
フェイ	動画再生回数	口				
スブッ	いいね数	件				
ク	フォロワー数					
	(増減数)	( 人)				
	投稿数	件				
インス	動画再生回数	口				
タグラ	いいね数	件				
4	フォロワー数					
	(増減数)	( 人)				

## Ⅲ. 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

画の内容、

適格性及 び実現の 程度

(1)収支計 <mark>○事業収支計画の達成に向けた戦略的な取組みが適切に実施されているか</mark>

1. 事業収支計画・実績状況

(単位: 千円)

			計画	実績 (見込)	計画と の差	達成率	前年同 期実績	対前年 同期比
	収	入	246, 834			%		%
De		委託管理費	96, 380			%		%
R6 年		利用料金	82, 233			%		%
度		その他収入	68, 221			%		%
及	支	出	246, 511			%		%
	損	益	323			%		%
R7	収	入	250, 240			%		%
年		委託管理費	96, 380			%		%

申請時 計画書 P71

					•	
	度 利用料	·金 83, 792	%	%		
	その他	収入 70,068	%	%		
	支 出	249, 959	%	%		
	損 益	281	%	%		
	収入	251, 588	%	%		
	委託管	理費 96,380	%	%		
	R8 利用料	金 84, 568	%	%		
	<del>                                  </del>	以入 70,640	%	%		
	支 出	250, 774	%	%		
	損益	814	%	%		
	R9 収 入	252, 895	%	%		
	年 委託管理		%	%		
	度利用料金	金 85,345	%	%		
	その他に	収入 71,170	%	%		
	支 出	252, 655	%			
	損益	240	%			
	R10 収 入	255, 646	%			
	年 委託管理		%			
	度 利用料金		%			
	その他に	収入 73,145	%			
		255 572	%			
	支 出	255, 572				
	損益	74	%			
	損 益 ※利用料金…施	74 回設利用料、ヨットハウン	% ス利用料			
	損 益 ※利用料金…施 ※その他収入…	74	ペープ (2015年)			
	損 益 ※利用料金…旅 ※その他収入・ ※千円未満切捨	74 直設利用料、ヨットハウン ・食堂利用料、その他、 除てしているため、内訳。	ス利用料 自主事業収入 と合計が一致しない場合あり	0		
(2) 安定的	損 益 ※利用料金…旅 ※その他収入・ ※千円未満切換  ○各部門に必要が	74 正設利用料、ヨットハウン・食堂利用料、その他、I 全でしているため、内訳。 な人員が適切に配置され	ス利用料 自主事業収入 と合計が一致しない場合あり でいるか	0		
(2)安定的 な運営が	損 益 ※利用料金…旅 ※その他収入・ ※千円未満切換  ○各部門に必要が	74 直設利用料、ヨットハウン ・食堂利用料、その他、 除てしているため、内訳。	ス利用料 自主事業収入 と合計が一致しない場合あり でいるか	0		
	損 益 ※利用料金…旅 ※その他収入・ ※千円未満切捨  ○各部門に必要な ○職員の採用、確	74 正設利用料、ヨットハウン・食堂利用料、その他、I 全でしているため、内訳。 な人員が適切に配置され	ス利用料 自主事業収入 と合計が一致しない場合あり ているか いるか	0		
な運営が	損 益 ※利用料金…旅 ※その他収入・ ※千円未満切捨 ○各部門に必要な ○職員の採用、研 ○職員の指導育成	74 正設利用料、ヨットハウン・食堂利用料、その他、I 会でしているため、内訳。 な人員が適切に配置され 確保が適切に実施されて	ス利用料 自主事業収入 と合計が一致しない場合あり でいるか いるか れているか	0		

1. 管理体制	P38	
① 職員体制及び配置		
② 管理監督体制·責任体制		
(1)運営協議会の設置・開催		
(2) 2 法人の基本業務分担		
③ 現場の責任体制		
(1)全体会議等の諸会議の開催		
2. 従業員採用、確保の方策		
① 海洋センター勤務職員の継続雇用及び人材の登用		
② 欠員の補充確保		
3. 従業員の指導育成、研修体制		
① 研修	P40	
(1) 定例研修・訓練		
(2)技術研修		
(3) 自己研修		
(4) 資格取得研修		
(5)関係団体が実施する研修会への参加		
(6)職員の業務能力の向上		
②大学生専属ボランティアリーダー養成研修	P41	
(1)理論研修		
(2) 実技研修		

## 4. 職員配置計画

(単位:名)

							( 単位: 名)
業務内容	雇用形態	配置	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年
,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	准用///	人数	人数	人数	人数	人数	度人数
全体総括者 所長・副所長	常勤	2					
庶務・管理担	常勤	6					
当	パート	3					
食堂運営担当	常勤	1					
艮里里呂担ヨ	パート	20					
利用促進担当	常勤	5					
リーダー育成 事業企画担当	常勤	3					
海洋活動担当	常勤	5					
	常勤	22					
計	非常勤・パート	23					

## 5. 業務外注計画・実績

(単位: 千円)

	Pl 75- 希孕	予定	R6 年度	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度
	外注業務	金額	実績	実績	実績	実績	実績
海洋センター	設備管理業務	17, 831					
	清掃業務	1, 406					
	自家用電気工作	(50					
	物保安管理業務	658					
	植栽樹木管理	1,500					
	設備管理業務						
ヨットハ	清掃業務	4 010					
ウス	自家用電気工作	4, 810					
	物保安管理業務						
計		26, 205					

申請時 計画書 P88

申請時

計画書 P77

(3) 安定的	○施設運営管理者として、適切な財務状況が確保されているか		
な運営が			
可能とな	1. 法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤		
る財政的	2. 指定管理者を構成する 2 法人の事業内容		
基盤			